

次の文章を読み、あとの問に答えよ。

(50点)

又E

1 これも今は昔、*民部大輔篤昌みんぶのたいふあつまさといふ者ありけるを、*法性寺殿ほふせうじの御時、*蔵人所の所司くらにんしょのしよしに、義助よしすけとかやいふ者ありけり。くだんの篤昌を*役に催しけるを、「1われは、かやうの役はすべき者にもあらず」とて、参らざりけるを、所司、小舎人こどねりをあまたつけて、苛法かほふに催しければ、参りにけり。さて、まづ、所司に「もの申さん」と呼びければ、出であひけるに、この世ならず腹たちて、「かやうの役に催し給ふは、いかなることぞ。まづ篤昌をば、いかなる者と知り給ひたるぞ。5承らん」と、しきりに責めけれど、しばしはもの言はでるたりけるを、叱しかりて、「のたまへ。まづ、2篤昌がありやうを承らん」と、いたう責めければ、「3別のこと候はず。民部大輔五位の、鼻赤きにこそ知り申したれ」と言ひたりければ、「をう」と言ひて逃げにけり。

また、この所司がゐたりける前を、忠恒ただつねといふ隨身、4異様ことやうにて練り通りけるを見て、「*わりある隨身の姿かな」と忍びやかに言ひけるを、耳とく聞きて、隨身、所司が前に立ち帰りて、「わりあるとは、いかにのたまふことぞ」と咎とがめければ、「われは、人のわりのありなしもえ知らぬに、ただ今、武正たけまさ*府生ふしやうの通られつるを、この人々、『5わりなき者の様体ようたいかな』と言ひあはせつるに、すこしも似給はねば、さてはもし、わりのおはするかと思ひて、申したりつるなり」と言ひたりければ、忠恒「をう」と言ひて逃げにけり。

この所司をば、「6荒所司」とぞついたりけるとか。

(『宇治拾遺物語』より)

注

*民部大輔 || 民部省(戸籍・租税などを管轄した役所)の次官。

*法性寺殿 || 藤原忠通。

*蔵人所の所司 || 「蔵

人所」は、藏人（天皇の側近）が執務した役所。「所司」「小舎人」はそこで働く職員。* 役Ⅱ夫役・労役。* わりあるⅡ「わりなし」の対義語として、所司が即興で作った語。* 府生Ⅱ衛府えふ（宮中を護衛し、行幸・行啓の供奉などをつかさどった役所の総称）の下級武士。

問一 傍線 1、「篤昌」はどのようなことを言おうとしたのか、説明せよ。(7点)

問二 傍線 2～4を口語訳せよ。(18点)

問三 傍線 5について、次の (i)・(ii) に答えよ。

(i) 傍線 5とあるが、どういうことか、説明せよ。(7点)

(ii) 所司はなぜ「わりある随身の姿かな」と言ったのか、説明せよ。(8点)

問四 傍線 6「荒所司」というあだ名にはどのような意味が込められているのか、説明せよ。(10点)